

古代海路と軍事要衝の地

由良

2025-3-31(金)

↑ 生石展望台から見た紀淡海峡と友が島

＜参加メンバー＞ 3人(男性1人、女性2人) 天候：晴れ／曇り

＜コースタイム＞

三宮バスターミナル(高速バス)7:40～9:14洲本BC(洲本市コミュニティバス)9:20～9:41生石口～生石公園(砲台跡巡り)～生石栈橋(渡船)12:00～12:10成ヶ島(成山城跡、海岸線)～14:00成ヶ島栈橋(渡船)～由良栈橋～14:32バス由良中学校前～14:45洲本15:00(高速バス)～16:30三宮
歩行距離約5km 所要時間約5H(昼食休憩含む)

＜概要＞

船で外洋と大阪湾を出入りするには狭い紀淡海峡を通過することになる。先の大戦で京阪神を敵艦の攻撃から守るため、日本軍は紀淡海峡に由良要塞(砲台)を築いた。要塞の範囲は淡路島由良、海峡の島友ヶ島、和歌山加太など海峡を東西にカバーする防衛線にしたが、実戦では一度も砲火を交えることはなかった。やがて敗戦後に米軍の命令で砲台は破壊されたがまだその跡は残っている。今回は生石山の尾根上に築かれた砲台跡を巡り戦争の痕跡を探し、そのあと渡船で淡路橋立と称される砂州の島成ヶ島に渡り、浜辺の景観や海浜植物を楽しんだ。(Gi)



スタートは三宮BTミット神戸



コミュニティバス生石口で下車



生石公園を目指す



林道歩き、山桜が映える



中央構造線の露頭かも
この辺りを通っているはず



生石公園第二駐車場へ到着



第1砲台砲弾庫跡(レンガ製)



内部は破壊されている



第1砲台跡 基礎のみ残る



第2砲台砲弾庫跡(破壊が激しい)



掘り出された加農砲の砲身



砲身の先端内面(溝が彫ってある)



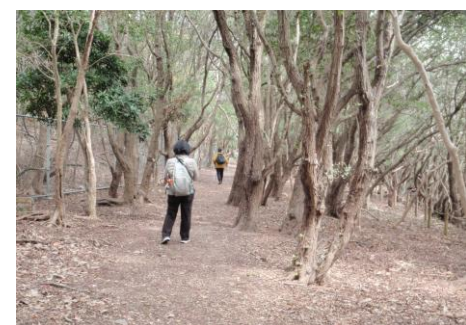
生石公園展望台から紀淡海峡、友ヶ島を望む ○ は潜水艦



潜水艦



護衛艦も航行している



ガクシが群生する尾根を歩く



生石灯台



出石神社(古来、出石市と縁がある)



生石山から下山し浜へ出る



桟橋まで渡船が来てくれる



生石山を後に
成ヶ島へ



成ヶ島山頂から砂州を見る



成ヶ島砲台跡



ハマダ イコン咲く径を抜けて海辺へ



紀淡海峡と友ヶ島。海岸は丸い石が多い



ハマダ イコンの花